

みのりの小道通信 2018年7月号

ミニ学術植物園「みのりの小道」を活用した
「学生・地域とともに育ち、歩む大学」づくり

島根大学(松江キャンパス)松江市西川津町 1060
TEL : 0852-32-6492 (生物資源科学部 事務室)
Email : yamagishi.kazuto@gmail.com (山岸)
平成 30 年 7 月 11 日 発行

スズメと格闘しながら、6月下旬に小麦を収穫・乾燥し、その2週間後の七夕の日に脱穀・選別作業を行いました。バインダー、足踏み脱穀機、唐箕などの昔ながらの便利な機械の恩恵を受けながら、きれいになった小麦粒をさっそく製粉して食べました。

前回(6月13日)第163回公開作業

主な実施内容(Do)

参加者 27 名(一般 9 名、学生 10 名、教職員 8 名)で行いました。

できる作業・体験等: 見学・作業_ダイズ播種など半月状畑の管理 試食_サクラの葉の塩漬け(桜餅) 体験_土壌 pH の計測 観察・管理_ジャガイモ 体験_ちよどいい賑わいづくり(草管理・植物質マルチ等) 体験_ドクダミ茶づくり 作業_竹皿づくり 作業_机上のヒマラヤスギ葉の掃除 作業_ブラックベリー誘引・棚づくり 作業_溜め枡周囲の植栽 見学_リニューアルオープンした総合博物館

みんなでやる体験・お話等: お話_身近な微生物『酵母』と CoQ10 の話 紹介_私たちのエネルギーについて語り合う会 報告_みのりの小道、YouTube 始めました 交流_みのりの小道通信の発行

<溜め枡周囲の自由奔放な植栽>



アンケート結果等 1 (Check&Action)

- ・体をどのくらい動かしたか; 極小 53% 小 11% 中 26% 多 11% 極多 0%
- ・本日の活動に満足したか; そう思う 84% 少しそう思う 11% どちらでもない 5% あまりそう思わない 0% そう思わない 0%
- ・印象に残ったもの(複数回答); 酵母と CoQ10 のお話 65% 桜餅の試食 59% 土壌 pH 測定 29% 大豆の播種 18% エネルギーの会の案内 6% YouTube のお話 6%
- ・本日のみのりの小道を一言で表現すると? ; 動と静、晴夫に、自然が多くて楽しい、自然との会話、桜餅、混ぜり合っ、ほのぼの、知、爽やか、重荷のない勉強会(テストがない)、梅雨のひととき、日だまり、なごむ居場所、発見、談らん

アンケート結果等 2 (Check&Action)

【酵母と CoQ10 のお話】 興味深く面白かった 大学での研究を聞けるのも興味深い話が長くなってしまったが、一般の方にも理解をして頂けた事は貴重だった

【体験】 大豆の種播きや、そうじ、エゴマなどの苗を植えるのが楽しくできた。何をどこに植えたかを覚えない コンクリートの蓋を囲った花壇にドクダミ、エゴマ、オミナエシ等、雑多な植物を参加者が好きに植えたのが、みのりの小道らしくて面白かった。

【桜餅】 途中参加なのに桜餅をいただきありがとうございます いい香りで、葉を含めておいしかった "桜もち"ごちそう様

【学生の活動】 学生さん達が楽しんで学ばれている感じがして、ご一緒できてパワーをいただけた 皆さんとコミュニケーションを取りながら作業と学ぶことが出来て良かった 学生が自分から活動し、報告する場があることは良いと思う

【みのりの小道への参加】 思い切って初めて参加した。食に関する仕事を長年していて、環境から植物(食材等)など様々な観点から話を聞けたらと思う。色々の方とお話できて良かった 梅雨の晴れ間のさわやかな風の中での時間をありがとうございますの気持ちだ 毎日の忙しさを忘れて過ごせる場かなと感じた 初めて来られた方にも植物の説明が少しできるようになった。地域の方とお話しながら作業できて楽しかった

【要望】 普段みることのない実験(今回の pH 測定等) 一般家庭で植付けをしない作物(米や麦、果物)の植付や管理 コケモモのジュースやジャムづくり

「この植物を必ず植えたい」という強いこだわりもいいますが、いろいろ植えて何が残る(その土地に合っている)かを楽しむのも面白いですね。

これからも学生が「自ら」「楽しく」「コミュニケーションを取って」活動したことをどんどん報告してもらいます。

今回は島大農場開講の人気公開講座に抽選漏れた替わりに、生涯教育推進センターのお声掛けでみのりの小道に初めて参加、というケースが何人か見られました。

今回(7月11日)第164回公開作業 主な計画(Plan)

できる作業・体験等:

体験_ジャガイモ収穫 by 深田(教員) 体験_ヤマモモ収穫 by 花崎(学生) 試食_ヤマモモジャム by 深田(教員) 体験_カンパ箱を竹でつくる by 山岸(一般) 体験_ちよどいい賑わいづくり(ブルーベリー周囲) by 山岸(一般) 見学・作業_半月状畑の管理_ダイズ観察 by 花崎(学生) 体験_ドライブケーキ(ローズマリーやラベンダーの活用) by 園芸同好会 体験_アズキ播種 by 花崎(学生) 体験_焚き火 体験_緑肥作物の播種

みんなでやる作業・お話等:

観察_ソーメンが流れた後の竹 by 西澤(学生) 試飲_ドクダミ茶 お話_生資学部学習サポーターの活動 by 西田 & 小林(学生) お話_園芸同好会の活動紹介 by 西澤(学生) 報告_どげなかねえ? 私たちのエネルギー by 花崎(学生) 交流_みのりの小道通信の発行 by 山岸(一般)

6月30日にヤマモモ収穫



次回の公開作業等の予定(Plan)

第 165 回: 8 月 7 日(火) 14:00 ~ 16:00: ブルーベリー収穫、ジャガイモ料理、教育学部の畑の紹介など

次回の開催は「火曜日」です。お間違えなく!

今後は年に 4~6 回程度の不定期開催予定です!

この写真はポイント対象です。

【お話】学習サポーターの活動について by 西田香織 & 小林桃歌 (生物資源科学部学習サポーター)

学習サポーターでは学期始めの履修サポートや期末テスト前の学習サポートを主に行っています。高校までの時間割はすでに組まれているものですが、大学では自分で時間割を組まなければなりません。学科やとりたい資格によって、とらなければならない授業は様々で、特に新生や編入生は慣れていないので不安があると思います。また、大学でもやはり大半の授業において学期末にはテストがあり、そのテストで成績がつく授業も多いです。そのため、下級生や同級生がわからないことを、今までその授業を受講してきた先輩たちがサポートしていきます。学期末以外でも学習サポーターのツイッターやメールで連絡をもらえればサポートはしてきましたが、今年からは新たな試みとして学期末以外でも質問に来てもらえるように、隔週でサポーターが配置されるようになりました。授業の質問は先生に聞くことがとても重要ではあると思いますが、学習サポーターはまだ学生ですので、気軽に話しかけていただきやすく、同じ学生の目線だからこそできるサポートもたくさんあると思います。たくさんの学生さんに質問に来ていただいて履修や勉強での不安を無くし、楽しく充実した大学生活を過ごすお手伝いができればいいなと思っています。



活動場所：生物資源科学部 3号館 2階マルチメディア演習室
主な活動期間：履修期間中、学期末テスト1週間前～テスト最終日前日、隔週金曜日
(この期間以外でも連絡をもらえれば対応可)

【紹介】園芸同好会 by 生物資源科学部農林生産学科 西澤伸汰 (学生)



畑の様子

【活動場所】 教育学部棟裏の畑、松江駅本通り

【活動の目的・内容】野菜や花の栽培といった園芸活動を通して、野菜や花の生産に関する基礎知識の習得や食育、美化活動といったことを目的として活動を行っています。また、松江駅本通り、みのりの小道、生物資源科学部3号館中庭などの大学構内外において美化を中心としたボランティア活動を行い、地域貢献も目的として活動しています。

【畑のこだわり】「いい土がおいしい野菜を育てる」農薬、化学肥料を一切使わない有機

栽培をしています。土づくりには大学内にあるもの(腐葉土、竹の葉、雑草)をできる限り使用し、自然の力を借りながら土を育てています。「新しいことに挑戦する」メンバーの「育ててみたい、食べたい」という声を取り入れ様々な種類の野菜や花を育てています。現在、35種類(約60品種)の野菜とハーブを栽培；ラベンダー、ミント、ローズマリー、ナスタチウム、ヒソップ、バジル、トマト、キュウリ、ナス、トウガラシ、ピーマン、シシトウ、パプリカ、トウモロコシ、オクラ、ズッキーニ、カボチャ、スイカ、ゴーヤ、ネギ、ニラ、スイスチャード、エゴマ、エダマメ、白花豆、インゲン、パング豆、ラッカセイ、サトイモ、ショウガ、ダイコン、ニンジン、イチゴ、キクイモ、レタス、ナガイモなど



松江駅前花壇の様子



ジャガイモパーティ

夏野菜ピザ

【報告】どげなかねえ？私たちのエネルギー by 生物資源科学部農林生産学科 花崎雪 (学生)

第1回のエネルギーの勉強会を6月18日に開催しました。エネルギーの問題は幅が広く奥が深いですが、私たちが住むすぐ近くに原発がある！ので、原発のテーマから始めることにしました。第1回目は「NHKふるさと発島根原発30年～地球は原発とどう向き合うのか～」という15年ほど前のテレビの録画を観ました。原発交付金では地域は活性化しない現状でも住民が原発に依存してしまう仕組みが見えてくるような映像でした。電気料金、原発立地土地、断層、送電...原発には私たちが直接見ることができないものがたくさんあるということも感じました。第2回目は7月2日に行き、元松江市議会議員でありさよなら島根原発ネットワークの事務局もされている芦原康江さんにお話に来ていただきました。実際に福島を訪れたお話から島根原発3号機のお話までとても分かりやすくお話してくださいました。この日は思ったこと考えたことなど、発言も活発でとても充実した時間となりました。また原発の「暗さ」を身に染みて感じました。まだまだ手探り状態な勉強会ですが、終わるころには笑いもあり、いい雰囲気になっています。エネルギーについて普段から話をする場所はなかなかありませんが、こうして定期的集まることで色々なことを知り、考えることができることはとても貴重な時間のように思います。次回の勉強会は10月15日(月)です。今のところ原発交付金の話を関先生にお願いしようと思っています。原発に対しての疑問は尽きませんが、原発と並行して再生エネルギーなどのテーマも取り入れていけたらと考えています。